

北陸能開大

ものづくり人材県と育成

連携協定 訓練課程など開発

県と北陸職業能力開発専門学校(魚津市川縁、野瀬正照校長)は、ものづくり人材育成に向け連携を強化する。企業向けの訓練カリキュラムの共同開発など3項目について今月中にも協定を結ぶ方針。7日、同市で開かれた北陸能開大の創立40周年記念式典で石井隆一知事が明らかにした。

協定を結ぶのは▽企業が職者の技能向上訓練に向けたニーズの調査▽訓練カリキュラムの共同開発▽2020年度に小学校で必修となるプログラミング教育に向けた出前講座の開催の3項目。関係者によると、今月中にも両者で協定書に調印する方向で準備を進めている。

北陸能開大はこれまで、社会人の高度職業訓練として、企業に在籍する技術者を学生として受け入れ、実践的なスキルを教えている。社員

研修として使っている企業もある。

一方、中小企業では社員を派遣する余裕がなく、利用が広がらない側面もあった。小学生向けの出前講座では理科教育などを行っているが、新川地域が中心だった。

野瀬校長は「これを機に地域との連携をさらに深めていきたい」と期待を寄せる。

創立40周年 地域貢献誓う

北陸能開大の創立40周年記念式典が7日、同市の新川文化ホールで開かれ、在校生や関係者約500人が節目を祝った。

【webunに写真3枚】

1978年に富山職業訓練短期大学校として開校。2000年に4年制となり、現校名に改称した。08年には行政改革に伴い廃止が検討されたが、新川地区一体となった反対運動が展開され、存続が決まった。

式典では、野瀬校長が地域の支えに感謝し「高度なものをづくり人材育成と地域発展に貢献できる

大学校を目指したい」とあいさつ。石井知事、佐藤靖夫富山労働局長、高野行雄県議会議長、村橋晃魚津市長、大愛高義同校新川地区振興会長が祝辞を述べた。

新川地区振興会による産・学・官「能力開発セミナー」もあった。ロボットをテーマにサイエンスライターの森山和道さんが講演し、神代充富山大工学部教授、国崎晃不二越上席執行役員、澤田喜和YKK執行役員を交えてパネルディスカッションを行った。

会場には、学校や学生による課題の成果を紹介するコーナーが設けられた。

この記事は、webunで会員以外の方もご覧いただけます。

農地で行われ、地元の児童が野菜の苗や種を植えた一写真。

農業や地元の食材に親しみを持ってもらおうと、同公社と市、東加積地区公民館が毎年企画。地元農家の約10分の畑を借りて行っている。

東加積小の4～6年生30人が参加した。同市北野で野菜や花の苗を生産している石原明さん(67)らに植え方のコツを教わりながら、畝にキャベツの苗900本を植え、ダイコンの種をまいた。

子どもたちは11月ごろ、収穫にも挑戦する。実った野菜は学校給食のほか、12月に同校で開く「親子三世代の集い」などに活用する。



野菜の苗植えに挑戦

滑川市農業公社などの農業体験学習事業「みんなで野菜を作ろう!!」が7日、同市大崎野の

県東部

国際交流 富山で実践

授業で富山について学んでいるさいたま市開智小学校の6年生約20人が7日、富山国際大付属高校(富山市願海寺水口)を訪れ、生徒や留学生と交流を深めた。

開智小学校では地域研究の一環として、富山県民の生活を知ろうと2年前から、幸福度が高いとフィリンドワークに取り組み

【webunに写真5枚】



記念式典で式辞を述べる野瀬校長

北陸能開大同窓会は来年度から10年間、成績優秀者の入学金を無償化する奨学金制度を設ける。企業やOBらに支援を募って開設した40周年記念基金を活用し、入学金を全

成績優秀者の 入学金無償化

同窓会が奨学金制度

額負担する。7日の記念式典で、同窓会が学生代表に奨学金の目録を手渡した。同窓会が発起人となって新たに作った校章も贈った。

面玄関に設けた一写真。町を挙げて結婚を促進しようとして、20～30代の若手職員6



入善町は7日、婚姻届を提出したカップルの記念撮影ブースを町役場正

婚姻届の記念に 夫婦で写真いかが 役場に撮影ブース

北日本かつみ野茶会 長月の茶会

▽日時 9日(日) 茶席開始午前9時

▽会場 北日本新聞新川支社

▽席主 古儀茶道藪内流 瓶田京子氏 茶道裏千家

主催 眞門宗智氏 北日本新聞社

北日本かつみ野茶会

ジオパーク歩いて体感

立山黒部ジオパーク協会の現地集合現地解散型ツアー「ジオパーク散歩」は7日、朝日町



宮崎地区で開かれ、町内外の11人が自然の特徴や地域の歴史に触れた一写真。

立山黒部ジオパークのエリア(県東部9市町村)を舞台とし、11月まで計10回、各地の名所や文化施設を訪ねる。

初回となったこの日、参加者はあいの風とやま鉄道越中宮崎駅前を出発し、同協会のジオガイドの案内で宮崎海岸を西に進みながらヒスイの原石を探した。国天然記念物「宮崎鹿島樹叢(じゅそう)」に到着し、近くの鹿嶋神社の歴史についても学んだ。時折、雨脚が強まる中、往復約3キロを歩いた。

埼玉の小学生 国際大付高訪問



フィリピン人の生徒と英語で会話しながらクレープを作る児童

高い「県民幸福度」現地調査

外国籍の生徒と菓子作り

北嶋匡君(12)は「高校の先生から富山は豊かな場所と教わり、そつだと感じた」、武内裕雅君(12)は「自分が通う学校と外国との授業量や文化の違いを知ることができた」と話した。「教育」をテーマとする児童約20人は、隣接する富山国際大呉羽キャンパスを訪れ、子ども育成学部の研究内容や特徴を学んだ。

この記事は、webunで会員以外の方もご覧いただけます。